

Technical Bulletin # 021

2006/09/01

ハースストーン ストープ表面温度とドラフト値

対象機種：全機種

ソープストーンは薪ストーブを組立てる素材として最適な素材です。耐久性があり、見た目も美しく、柔らかく安定した熱を、長時間に渡り供給し続けます。類まれなるこの特長により、ストーブの周辺だけが熱くなりすぎるといような、スチール製ストーブや鋳物製ストーブによく見られる現象が起こりにくいとも言えるでしょう。その蓄熱や放熱は独特なので、表面温度の目安を参考にしてください。以下の表面温度は全て、天板中央で計測したものです。使用する表面温度計が正確な温度を計測しているか確認してください。ストーブ専用の表面温度計は、まれに50度～100度ほど低く表示されることがあります。

ストーブが出す熱や表面温度は、薪の乾燥具合や種類、ドラフトから大きく影響を受けます。ドラフトが不十分ではゆっくり低温で燃焼し、ガラスも汚れやすくなります。ドラフトが不十分な場合には、室内の負圧、煙突の高さ、風の状態、煙突の位置や口径がその理由として考えられます。

ドラフトが強すぎる場合には、薪が早く燃え、焚きすぎの原因となります。皮肉なことに、ドラフトが強すぎる場合でも、低温燃焼やガラスの汚れの原因となります。ドラフトを軽減させるには、ダンパーを取り付ける方法がありますが、必ずドラフト計測後に取り付ける必要があります。

ソープストーン

機種	モデル	低温燃焼	中温燃焼	高温燃焼	ドラフト値
イキノックス	#8000	200℃ 以下	200-260℃	260-315℃	
マンスフィールド	#8011	200℃ 以下	200-260℃	260-315℃	.06 - .10
フェニックス	#8612	150℃ 以下	150-160℃	180-190℃	.06 - .10
ヘリテイジ (2003 年 2 月以降製造)	#8021	200℃ 以下	200-260℃	260-315℃	.06 - .10
ヘリテイジ (2003 年 1 月まで製造)	#8020	120℃ 以下	120-135℃	120-200℃	.08 - .10
トリビュート	#8040	200℃ 以下	200-260℃	260-315℃	.06 - .10
ホームステッド	#8570	200℃ 以下	200-260℃	260-315℃	.06 - .10
スターレット	#8550	120℃ 以下	120-180℃	180-230℃	.06 - .10

鋳物シリーズ

機種	モデル	低温燃焼	中温燃焼	高温燃焼	ドラフト値
シェルバーン	#8370	180℃ 以下	180-230℃	230-290℃	.07 - .10
クラフツバリー	#8390	150℃ 以下	200-260℃	260-315℃	.06 - .10
ベニントン	#8350	120℃ 以下	120-150℃	120-200℃	.07 - .10